

ODA

沖縄脊髄損傷者連合会

**しゃん
95号**

編集：沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211

〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室

Eメールアドレス sekiren@proof.ocn.ne.jp ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

「沖縄県障害福祉計画」に対する意見交換会

去る8月11日（木）午後5時30分よりサン・アビリティーズうらそえ（研修室）において、県障害保健福祉課計画推進班の山口氏、山田氏、沖脊連からは大城（ひ）、大城（ま）、枝川、荷川取、玉城、具志の6名が参加し沖縄県障害福祉計画に対する県との意見交換会を行いました。

この意見交換会は、私たち障害者にとって必要な福祉サービスを地域において計画的に提供するための体制確保に向けて策定した第2期計画が今年度で終了となるため、サービス提供に関する実績の分析・評価を行い、その課題をふまえ見直しを行ったうえで第3期障害福祉計画（平成24年～26年）の策定あたるため県内の当事者団体11団体と個別に意見交換会を実施しています。

今回の意見交換の中で、参加したメンバーから個別に利用している福祉サービスについての内容や課題、問題点、今後に望むことなどを意見し、福祉サービス以外の内容についても身障者用駐車場（パーキングパーミッド制度）や身障者トイレの問題、県内のリハビリテーションの課題、情報提供の市町村格差をなくすため県が身障者手帳発行の際、サービス内容等を記した障害者福祉のしおりの提供などの意見も出されました。

事務局では、今回の意見交換会にのぞむ前に、参加者以外の、地域でサービスを受け生活している会員8名、他障害1名、脊損者の家族1名から

面談や電話、メールなどで事前に聞き取りを行っており、施設入所者の地域生活への移行についてや地域の相談支援体制について、地域の市町村格差、自立支援給付における障害程度区分、重複障害者のサービス、リハビリテーション施設等についての課題など多数の意見を事前聴取しており、今後の計画に反映させるため県の担当者にその資料を託しました。

直接参加者や事前聞き取りの意見の中で感じることは現在提供されているサービスの量や質、種類など限られたサービス量で精一杯調整し、家族や同居者の援助がなければ自分がやりたいことが制限されることや足りない分を自費で賄っている場面、事業所間のサービス提供対応の格差やヘルパーの質、将来的な介護保険への移行に伴う不安など課題も多く見られました。



障がい者理解推進プログラム事業中間報告

ツインバスケット体験（北中城村社協編）

沖脊連では平成23年度、沖縄県いきいき長寿センターの助成を受け「障がい者理解推進プログラム事業」を実施しています。この事業は、学校及び地域へ、障がい者当事者及びグループを派遣し、障がい者の生活状況や交通事故経験等の講話や車椅子体験、障がい者スポーツ体験等の体験活動を通して、障がい者理解の促進を図ることを目的に実施しているものです。

その事業の一環で、7月23日土曜日、午前10時より北中城村社会福祉協議会主催の「小学生ボランティア講座」がサン・アビリティーズうらそえにて行われ、フェニックスクラブが小学生を対象に講師をしました。この日は土曜日ということもあり、普段のツインバスケット体験よりたくさんのメンバーが参加しました。ボランティア講座の体験生は小学5・6年生の8名。みなさん慣れない競技用車いすの操作に戸惑いながらも楽しんでくれました。



ツインバスケット体験（金武町身障協編）

7月23日土曜日のツインバスケット体験（北中城村社協編）に引き続き、今度は金武小学校にて同校の小学生を対象に金武町身体障害者福祉協会と金武町社会福祉協議会主催のツインバスケット体験が開かれました。



金武町の身協会長が挨拶。会長はなんと、元フェニックスの選手であった砂川秀樹さんでした。やはり頸損の会長だけあって、夏の真っ昼間でしたが選手のための暑さ対策はバッチリでした。ルール説明、デモゲームの後、2チームに別れてゲームを楽しみました。それぞれのチームにフェニックスの上シューターが一人ずつ入り、サポートします。車いすの操作に慣れてくるにつれ、車いすの速さに怖がっていた子供たちも次第にアグレッシブになり、白熱したゲームになりました。



沖縄県障がい者スポーツ協会設立協議会 NPO 法人化へ向け準備着々！

去る 8 月 17 日(水)、沖縄県障がい者スポーツ協会設立協議会の委員会が行われました。

同協議会は、平成 21 年度～22 年度にかけて沖脊連の事業の一環で実施した「沖縄県内の障がい者スポーツ振興等に関する調査研究事業」として取り組んでいたもので、今年度から事業を独立し、3 名の職員体制で事業展開を行っています。

先日開催された委員会では、今年度と次年度に向けた事業計画や予算審議、NPO 法人化に向けての取り組みなどが審議され、法人化に向けて準備を進めていくこととなります。

また、同協議会は、今年度沖脊連が沖縄県いきいき長寿センターの助成金を受けて実施している「障がい者理解推進プログラム事業」でも互いに協力しながら行っており、今後の沖縄県における障がい者スポーツ振興や発展に大きく寄与するものと期待します。



第 47 回沖縄県身体障害者スポーツ大会 開催される！

去る 9 月 11 日(日)「第 47 回沖縄県身体障害者スポーツ大会」が沖縄県総合運動公園陸上競技場をメイン会場にて開催されました。

この大会は、沖縄県、市町村、沖縄県身体障害

者福祉協会が主催し県内の身体障害者が参加し、スポーツを通じて体力の維持、増強、機能回復を図り、更には自らの新たなる可能性を発見する契機を創るとともに、県民の身体障害者に対する正しい認識を深め、身体障害者の社会参加の促進に寄与することを目的に開催され、各市町村や施設から選手役員、ボランティア合わせ総勢 1500 名ほどが参加する大イベントで、沖脊連の会員も地域の市町村から多数参加していました。

大会の最終ステージでは福祉地区対抗リレーが行われ各地区熱戦を繰り広げ、総合優勝は那覇市福祉地区、準優勝は沖縄市福祉地区、三位はうるま市福祉地区という結果となりました。

また、本大会の一週間前、9 月 4 日(日)には、沖縄県立鏡が丘特別支援学校において同大会のアーチェリー競技が開催され、障害を持つ仲間立ちが心地よい汗をながしました。



○表彰式風景

全脊連発刊 **お役立ち書籍紹介！**

労災保険法 **遺族年金の手引き**

脊髄損傷患者のための社会参加

—実務編—

ガイドブック『Together』

1 排泄管理、2 車いすを無料配布！

本ガイドブックの排泄管理編と車いす編は、脊髄損傷患者の社会参加に必要な情報を当事者の目線で、それぞれのカテゴリー別に2冊制作したもので、患者のニーズに応じて適時適切に提供することで患者が本来持っている能力を発揮し、自立した社会生活ができるよう支援することを目的としております。これから、はじめて社会参加する脊髄損傷患者に必携の2冊です。

ご希望の方は、住所・氏名・電話番号を明記の上、下記全脊連事務局までFAXでお申し込みください。なお、PDF版でホームページからダウンロードすることもできます。



《車いす》脊髄損傷者の障害部位や程度は人それぞれで必要となる福祉機器もその人によって異なります。あなたの足となり移動を可能にしてくれる「車いす」も同様に最適なものを選ぶ必要があります。本ガイドブックでは車いすの正しい付き合い方について伝えます。

《排泄管理》脊髄損傷を受けた誰もがなぜ自分かという思いを持ち中には生きる気力さえなくしてきます人もいます。でも現実には現実と受け止める限り受傷前と同じようにいきいきと過ごすことが大切です。このガイドブックは様々な情報を項目ごとにまとめ伝えています。

http://www.zensekiren.jp/activ/s-guidebook_f.html 全国脊髄損傷者連合会 FAX03-5605-0872

この「遺族年金の手引き」の特徴は、制度の詳細は省き、次の点を目的に作られました。

- ① 遺族年金の申請を自分でできるようにする
- ② 各種の手続きに必要な様式と名称を理解する
- ③ 法律用語を避けること

被災労働者が亡くなられたときは、この本を参考にされ、必ず遺族補償年金、又は遺族年金の申請を労働基準監督署にて行ってください！

会員価格：2,000円（税込み）

一般価格：2,500円（税込み）

送料：無料

※支払方法

郵便振替（後払い）

振込用紙を同封し郵送いたします。ご到着14日以内を目安に郵便局よりお支払いください。

振込手数料はご購入者の負担となります。



小規模団体室 入居団体連絡会！

去る9月7日（水）、沖脊連の事務所がある県総合福祉センター「ボランティア・小規模団体室」の入居団体連絡会が開催されました。

現在、小規模団体室には障害者団体や支援団体など10団体が入居しており、新規に入居した全国パーキンソン病友の会県支部や県作業療法士会の紹介、消防訓練や施設をを利用するにあたっての留意点などが説明され利用団体からも活発な意見が出されました。それ以外にもセンター利用時の交通アクセスや施設内の飲食店の検討についての提言を行いました。

今後のしゃりんで出来る限り入居している各団体の紹介も行っていきたいと思っております。

ブログ(Blog)あれこれ!

ONPO法人チーム沖縄

障がい者の暮らしや権利を守るための方策を共に考え応援します!

チーム沖縄の日頃の活動内容などを掲載しています。

<http://teamuokinawa.blog114.fc2.com/>



チーム沖縄理事長 上里一之

○ヒデさんぽ!

浦添市在住の会員ヒデさん(脊損者)が日常の生活や家族、外出時のバリアフリーチェックなどを綴ったブログです。

<http://hideboo2.ti-da.net/>



○沖脊連ホームページから、車椅子バスケットボールSEASIRSブログ!、沖縄フェニックスのホームページやブログにもリンクしていますのでぜひご覧下さい。

脊髄損傷者相談会宮古島地区開催!

脊髄損傷者相談会の宮古島地区を10月15日(土)午後1時30分より、宮古島市「平良老人福祉センター」で開催します。

内容は、「TOMORROW」社会復帰ロールモデルDVD上映にはじまり、ピアサポーター個別相談、リハビリ等専門相談、グループワークによる相談を行う予定です。

現在、宮古島社協の協力をあおぎ、現地での会場設定やOHP機器借用、理学療法士や作業療法士の紹介、ボランティアの手配など着々と準備を進めているところです。

また、相談会翌日の日曜日は、宮古島在住の車椅子メンバーたちと車椅子バスケットのふれあい交流を行う予定です。

この相談会は、今年度県内5カ所で開催する予定です。今年の11月~12月にかけて本島地区(南部地区、中部地区、北部地区)に分けて実施、八重山地区は年明けに実施する予定ですので、日程や会場、詳細が決まり次第皆様にご案内いたします。

新入会員紹介!

今年度、下記の方々が新たに沖脊連の会員になりました。

- ・松川 幸市さん 55歳 頸髄損傷
《沖縄市在住》
- ・黒島 祥伍さん 23歳 頸髄損傷
《浦添市在住》
- ・下地 博治さん 61歳 頸髄損傷
《浦添市在住》

便利グッズ紹介コーナー！

市販商品の中で、ユニバーサルデザインで使い勝手の良い便利グッズに出会ったとき得した気分で、ハンディのあるメンバーに教えたいと思った場面がありませんか。このコーナーはそんな便利グッズ等を紹介しようと企画しました。

初回は携帯電話や最近流行りのスマートフォンを車のなかに置いて見やすくするホルダー(スタンド)を紹介します。

ホルダーは頸損者が使いづらい挟むタイプが一般的ですが、粘着ゲルで強力な吸着力でピタッとくっつくタイプがあります。

私は、浦添市のオートボックスで1,560円で購入しましたが、どこでもくっつくタイプなどは2,000円ほどでした。

今は快適に車内でテレビを観ることができます。これからはスマートフォン時代としますので、どなたか、便利なスマートフォンなどご紹介いただけませんか。募集します！



会費納入のお願い

沖脊連は基本的に会員の皆様からの会費で運営しております。

平成23年度分の会費納入がまだの方は是非納入して頂きますようお願い申し上げます。(事務局)

ちはる歯科クリニック

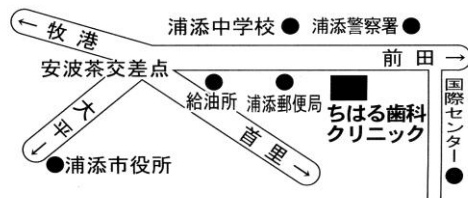
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています！

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保健施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。